

ふれあい通信

2022
10月号



Index

- P2 **特集** 多職種がご入居者を支える
たまふれあいグループホーム柗形の日常
- P6 ケアマネ相談室 File 2
たまふれあいグループ連携施設のご紹介 その3
- P8 スタッフ紹介 たまレポ
たまふれあいグループホーム 柗形 介護スタッフ 松本メロディーナさん

多職種がご入居者を支える

たまふれあいグループホーム柘形の日常

たまふれあいグループホーム柘形(GH柘形)は、2018年3月1日にスタートした2ユニット計18名定員の認知症高齢者グループホームです。たまふれあいグループ初の介護施設として、当初から研修などにも力を入れた取り組みを行ってきました。GH柘形の日常を通じて、ご入居者へどのようなアプローチを行っているかをご紹介します。

最期を迎えられる、病院ではない
アットホームな施設を作りたい

20年前の訪問診療クリニック開業当初、独居の末期がんの患者さんのお看取りをしました。患者さんが自宅アパートでの療養を強く望まれ、最初はご自身で生活されていましたが、ほどなくベッドで寝たきりになり、介護スタッフや医師・看護師が定期的にお伺いしていたものの、痛みや苦しみを十分に伝えられないまま旅立たれました。

この時から、自宅での療養はできるだけかなえられるように在宅医療を充実させるとともに、独居や老老介護の患者さんが安心して最期を迎えられるアットホームな施設をいつか作りたいと思い、4年前にGH柘形を立ち上げることができました。

創業時の思いをそのままに、GH柘形では医療必要度が高い患者さんや、ご自宅で過ごすことが困難な患者さんのお看取りに積極的に取り組んでいます。

医療職の定期訪問で ご入居者の状態を適時把握

GH柘形では、グループ内の医師、看護師、リハビリ技師などがグループホームのスタッフと共に、ご入居者一人ひとりに対してチームアプローチを展開しています。定期訪問では、医師と看護師による訪問診療を月2回行っています。

これとは別に、看護師が毎週、定期訪問して介護職とのカンファレンスを実施。さらに、グループホームでは珍しいリハビリ技師と介護職のカンファレンスも毎月実施しています。その都度、ご入居者の心身状態を確認し合い、アプローチの方法を相談し、情報共有しています。

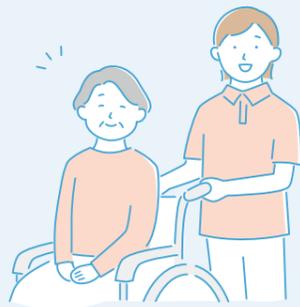
介護スタッフにとっても、ご入居者への関わり方を教わることができるため、医療的な知識が得られる学びの多い職場環境になっています。



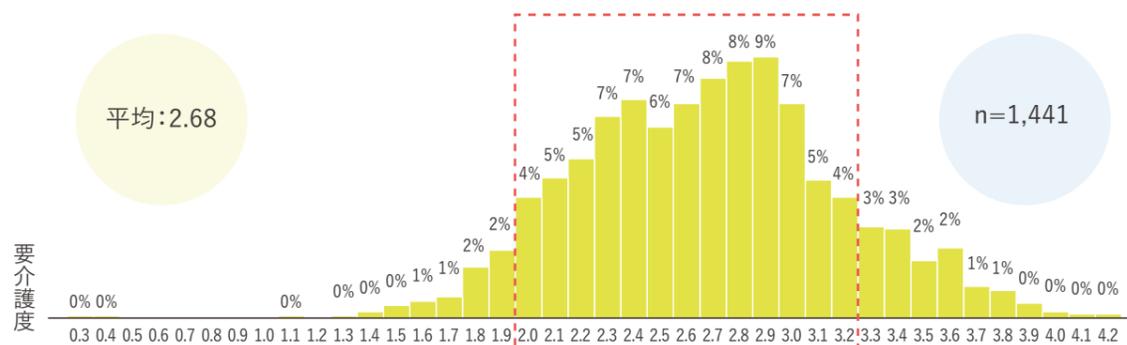
ご入居者の要介護度は 全国平均を上回る3.4

グループ内の多職種による連携の成果の一つとして、ご入居者の要介護度の高さを挙げることができます。グループホームご入居者の要介護度は全国平均が2.68(※1)に対し、GH柘形のご入居者の要介護度は平均3.4(※2)となっています。

経過年数でご入居者の要介護度が上がっても、最期の看取りまで対応できる理由の一つに、介護スタッフのケアのスキルの高さがあります。医療法人が母体となるグループの総合力が、介護スタッフのスキル向上を支えています。



平成29年度 要介護度の分布(平均)



※割合の数値は小数点第1位で四捨五入している

(※1)「平成29年度認知症高齢者グループホームの経営状況について」(独立行政法人 福祉医療機構)より。赤枠内が全体の約8割に相当。
資料のグラフを基に作成 https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/190306_No012.pdf
(※2)GH柘形の2021年8月から2022年7月までの平均要介護度

GH柘形のご入居者の平均は3.4

たまふれあいグループ
代表
鈴木 忠
(たまふれあいクリニック
院長)



GH 柘形の / たまふれ農園レポート

Report

施設から歩いて5分程度の場所に農園をお借りして、お散歩と生活リハビリテーションの一環として、ご入居者と一緒には農作業をしています。今年の春から8月までの様子をレポートします。



GH柘形
3階
フロアリーダー
はなおか ゆめじ
花岡 夢二

花岡手作りの農園便り▶



ご入居者と職員が一緒に歩いて畑に到着。



4月初旬、たくさんさんの苗を植えました。



5月初旬。ぐんぐん育っていきます。



5月下旬にはイチゴが色づき、6月から8月にかけて順次、トマト、ナス、オクラ、バターナッツなどが育っていきます。



▲7月、スイカが実を付けました。まだ握りこぶしよりも小さいです。



7月中旬から、ナスや枝豆、オクラなどを収穫できました!



農園には水やりのためのレトロなポンプもあります。



東屋で休憩。暑いから水分補給もしっかりと。作業おつかれさまでした。

収穫した野菜はぬか漬けや調理して皆でおいしくいただけます!(花岡)

「お身体の変化はないですか?お耳を少しお借りしますね(佐々木)。優しい声掛けで酸素飽和度を耳たぶで測定。」



小島からひと言! 優先順位をつけてご入居者の課題の把握をしよう。リハビリのカンファレンスでも介護の目線から考えることが大切。

キング。具体的なアプローチを学びます。

佐々木よりひと言! 介護スタッフそれぞれの価値観や視点を大切に、よりよいケアができるようにサポートしたいと思っています。

訪問リハ & 訪問看護のある日の医療連携カンファレンス in GH柘形

GH柘形は4年前の開業時より、スタッフ皆一丸となってお入居者のサポートに取り組んできました。医療・看護・介護の多職種連携により、スタッフは高みを目指して成長しています。2階フロアリーダーの介護スタッフ・島田友美とグループ在籍の理学療法士・小島大和、介護スタッフ・金澤ひろ子と同じくグループ在籍の看護師・佐々木陽子のカンファレンスの様子をご紹介します。



GH柘形
管理者
てしま かずみ
手島 一美



2階フロアの介護職とリハビリ技師とのカンファレンスでは、前回の記録に今回の様子を赤字で書き加えています。項目は①本人にとっての理想の過ごし方②現状の生活③1と2を比較したときに何が足りないのか④理学療法士に質問などという独自の書式です。



介護スタッフには、リハビリの課題をどう書けばいいのか分からないケースもあるため、一緒に話しながら状況把握することも。「文章を考えるのではなく頭の中をまずは整理しよう。前と今でどう変わっているかが大事(小島)などのアドバイスもありました。

「Oさんは首が上向きで拘縮があるため、誤嚥しない工夫を知りたい(島田)」、「顎が上がっているからもう少し顎を引ける状態をつくってあげるといい(小島)など、ご入居者の状態を確認しながら、背中に入れるテクニクや、室内用車いすの背もたれの角度を教わりま



看護職とのカンファレンスでは、ご入居者のバイタルや容体の確認をはじめ、認知症による精神症状や行動障害などについても情報共有しています。訪問診療の医師に、なにをどこまで報告すればいいのか介護スタッフが迷っているようであれば、そのタイミングなどのアドバイスもあります。



認知症による精神症状により、他のご入居者に否定的な声掛けをするKさんについて相談。「攻撃性が出てしまふなど介入が必要だと感じた場合は、Kさんの様子を先生にお知らせしてください(佐々木)。

足の皮むけの経過を記録して保湿剤を塗布。取れそうな皮をはがす様子を見て、介護スタッフから「介護職も保湿剤を塗るときにはがしていいのしょうか」と質問。「出血することもあるので無理にはがさなくていいですよ(佐々木)。

リハビリテーションカンファレンス

看護カンファレンス

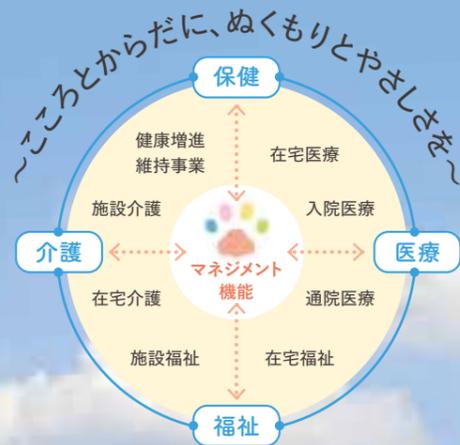
地域で暮らし、 地域で生きる ということ。

人々は地域で暮らし、地域の中で生きています。

世の中がどれほど発達したとしても、
人々の暮らしは地域の中にあります。

そして、たとえどんなに科学技術が進んだとしても、
人が人へ伝えるぬくもりや、やさしさを
超えることはできないと考えています。

だからこそ、私たちは地域に徹底した
こだわりを持ち続けます。



地域の人々の、
よりよい生活と人生のために



たまふれあいグループは、医療・介護・福祉・保健事業を
統合的に展開する医療法人グループです。

- たまふれあいクリニック
訪問診療／専門外来／訪問リハビリテーション
- たまふれあい訪問看護ステーション
- たまふれあい居宅介護支援事業所
- たまふれあいの森
健康相談／セミナー／健康チェック
川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F
- たまふれあいの家 枅形（医療・看取り対応型グループホーム）
- ナース&ケアハウス ふれあい（看護小規模多機能型居宅介護）
川崎市多摩区枅形6-19-8
- たまふれあいの家 登戸新町（医療・看取り対応型グループホーム）
川崎市多摩区登戸新町186
- デイサービスふれあい
川崎市多摩区生田3-18-2 アボードベア1F
- たまフレ！（障がい者就労支援事業所）
川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F

ケアマネジャーの質問に多職種スタッフが答えます！

ケアマネ の 気づき

1. 認知症がある場合など、ご利用者
本人が気持ちを伝達できないことを
キャッチして代弁する役割を果たす
2. 客観的な情報を準備することで
スムーズな意思疎通が図れる

ケアマネ
認知症で独居のSさんが喉や口の中の痛みを訴えています。診察を受けましたが、気持ちやうまく表現できず、医師はBPPSDと思われる様子でした。Sさんはあしらわれたように感じたためか、今もまだ痛みを訴えていらっしやいます。様子をみていたのですが、

訪問看護師Tさん
分かりました。「Sさん、お口を開けてみてください」。Tさんが口の中の写真をスマホで撮影。

ケアマネ
写真を撮るのはとてもいいアイデアだったようです。Sさんの診断結果は舌がんでした。認知症であるがゆえに気持ちをうまく表現できませんでしたが、写真を見せることで客観的に説明することができました。

ケアマネ
写真を撮るのはいいアイデアですね！

訪問看護師Tさん
本人に画像を見せながら舌の状態を共有する。「この写真を持って行って、病院の先生に診てもらいましょう。」

ケアマネ 相談室 File2

テーマ
代弁

答えた人



訪問看護師
Tさん

いつもありがとうございます！

その3

たまふれあいグループ連携施設のご紹介

クラーチ・メディーナ稲田堤

☎044-945-0751

住宅型有料老人ホーム



川崎市多摩区菅稲田堤1-17-15
2015年5月1日開設
事業主体：株式会社クラーチ

若いスタッフが明るい雰囲気をつくるホーム

独自のイベントで新たな取り組みを

たまふれあいクリニック 鈴木 忠院長より おすすめポイント

眠りの質にこだわって
全室に睡眠センサーを導入しておられたり、認知症予防の体操を積極的に取り入れておられたりするなど、先進的な取り組みをされています。住居型有料老人ホームですので、生活の自由度も高いです。

施設の特徴を教えてください。
住宅型の有料老人ホームは、ご入居者様一人ひとりが介護保険で使えるサービスを自由に選択しながら、ホームの中で暮らしを完結できることが特徴です。今年度からの強化目標として、日常生活を豊かにするため、レクリエーションに焦点を当てた新たな取り組みを進めています。訪問サービスを受けるだけでなく、ホーム独自でフラワーアレンジメントや音楽会などを開催しています。

株式会社クラーチでは、エビデンスに基づいた栄養管理体制の下、「食べたいモノを好きなだけ食べる」ことをサポートする「MOG」という取り組みを行っています。食生活の豊かさは人生の豊かさにつながることからも、当ホームでは手作りにこだわったおやつを月1回提供して、咀嚼嚥下の弱い人も見た目から楽しんでいただける工夫をしています。また、コーヒーカウンターの導入やエントランスなど、設備にもこだわりがあります。

どのような施設づくりを心掛けていますか。
新卒の職員採用に力を入れています。若いスタッフが多いため、明るく元気なホームになっています。当施設は、グループの訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所と多職種連携を取りながら、それぞれの専門性を発揮してご利用者様の暮らしをサポートしています。

2路線の駅から
近いため、通勤にも、
ご家族の面会にも
とても便利な
ホームです！



ホーム長・介護福祉士
かつむら ゆうじ
勝村 雄二さん



医療法人メディカルクラスタ TEL:044-931-3380

〒214-0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F 【看護師・介護職募集中!】



インタビュー

たまふれあいグループホーム
枳形

介護スタッフ

まつもと

松本 メロディーナさん



9月に介護福祉士実務者研修を終えました。次は介護福祉士国家試験受験に向けて頑張ります！

地域相談室によるスタッフ紹介

たまレポ!

今月のインタビュー

地域相談室 相談員

しんどう

ゆり

進藤 優里



こんにちは! たまふれあい地域相談室です。

今回は、たまふれあいグループホーム枳形の介護スタッフの松本を紹介!松本はフィリピン出身で、日本に来て13年目。今井美樹さんや宇多田ヒカルさんなど日本の歌が好きだったこと、お姉さんが日本人と結婚して先に住んでいたことから、日本語を学ぶために語学留学したそうで「日本大好き!」と笑顔で話してくれました。

日本語学校で学んだあと、さらに英語の学校に2年通い、小学校で英語の先生をしていましたが、学生の頃に介護のアルバイトをした経験があり、おじいちゃん、おばあちゃんとの会話が好きでプロの介護職を目指してたまふれに入職したそうです。

介護福祉士の国家資格取得には日本語が難しいため、通勤時間にも漢字などを練習。さらに、「もっと介護のことや認知症のことを知って、対応方法の知

識を身に付けたい」と話す、勉強熱心な人柄です。

介護の仕事で気を付けていることは、転倒などの事故はもちろん、英語が話せるご入居者には英語で話し掛けるなど、認知症が進行しないような脳トレを意識しているそうです。

将来の夢は、介護の仕事をしたいフィリピンの人に、日本に来てもらえるような取り組みをしたいと話します。フィリピンには、介護を仕事にしたい人は多いけれども、日本語の壁が大きくて米国やカナダなど英語圏に行ってしまうそう。「日本の介護業界のためにも、後輩をできるだけ日本に呼んで、日本語を教えて育ててあげたい」と熱く語ります。

介護の仕事に情熱を持つスタッフが、ご入居者のケアを担当しています。皆さんからのご相談をお待ちしています!

ご入居者みんなが笑ってくれるように、冗談を言ったり、一緒に歌って踊ったりと、明るいキャラクターが人気です。



海外旅行が好きで、いろんな国のお金をコレクション。ご入居者が「見たい」と言ってくれたので持ってきたら、日本以外のお金を初めて見たと喜んでくれました。



松本は左から3番目です。



フィリピンでは兄弟姉妹が10人という大家族。「このインタビューが載ったふれあい通信をお姉ちゃんの誕生日プレゼントにしたいです」。

地域相談室

イケダのっぶやき



ふれあい通信の表紙がオリジナルのイラストになりました!皆さんいかがですか?とてもかわいいイラストですよ。イチョウやドングリなど秋を感じさせるイラスト



ストになっています。この絵を見ているとなんだか温かな気持ちになりました。

(地域相談室 相談員 いけだ 池田あゆ)



たまふれあいグループ
Tama Fureai Group



たまふれあい
訪問看護ステーション

たまふれあいの家
Tama Fureai Home



たまふれ!
Tama Hicare!

たまふれあいの森
Tama Fureai Forest



044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2F